

南極半島クルーズ 11 日間

◆旅行開始日&終了日・期間・利用客船

旅行開始日～終了日	期 間	利用客船
2027年01月19日(火)～01月29日(金)	11日間	ル・リリアル

- 運航会社：ボナンクルーズ
- 利用客船：ル・リリアル
- 集合地／解散地：アルゼンチンのウシュアイア
- 食事条件：朝食10回、昼食9回、夕食10回

■スケジュール

日次	日程	食 事			宿泊
		朝	昼	夕	
1	午後 ウシュアイアから南極クルーズに出港			○	
2	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
3	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
4	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	○	○	○	船中
5	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	○	○	○	船中
6	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	○	○	○	船中
7	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	○	○	○	船中
8	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	○	○	○	船中
9	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
10	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
11	朝 ウシュアイア入港／下船	○			



※ウシュアイアには乗船日前日までに到着ください。

■クルーズ代金 (大人／お1人様)

利用客船	ル・リリアル	
旅行開始日	1月19日(火)	
旅行終了日	1月29日(金)	
集合／解散地	ウシュアイア／ウシュアイア	
期間	11日間	
客室タイプ	スーパーアステートルーム	1,990,000 円
	デラックスルーム	2,180,000 円
	プレステージ・ステートルーム (デッキ4)	2,280,000 円
	プレステージ・ステートルーム (デッキ5)	2,310,000 円
	デラックススイート	3,270,000 円
	プレビレッジスイート	3,720,000 円
	グランドデラックススイート	4,460,000 円
	オーナースイート	5,260,000 円

■料金に含まれるもの

- クルーズ代金と港湾税
- 朝食、昼食、夕食（乗船日の夕食から下船日の朝食まで）
- ウェルカムカクテルとディナー
- 航海中エキスペディションチームのガイド
- 無料の上陸アクティビティ
- 船上での無料エンターテイメント
- 船上での無料無線 Wi-fi
- 船内でのレンタル防水ブーツ
- ポーラーフリース（大人用サイズ）

■料金に含まれないもの

- 日程に明示されていない往復交通費
- シングル客室利用追加料金：クルーズ代金の 175%
- クルーズサービス TAX（1泊あたり 12 ユーロ）
 - ※申込時に支払いが必要です。
- パスポートやビザの取得費用
 - ・空港税や燃油サーチャージ
 - ・海外旅行保険（加入必須）
 - ・航空機の超過手荷物料金
- 日程に明示されていない陸上での食事、送迎
- 有料サービス（ランドリー、有料ドリンク、スパ、電話など）及びその他個人的費用
 - ・追加の宿泊費用
- 日程に明示されていないサービスやその費用

■スケジュール

第1日目 ウシュアアイ乗船/出港（船）

ウシュアアイにて乗船。

午後、ウシュアアイより南極クルーズへ出発。

第2～3日目 ドレーク海峡横断クルーズ

南米大陸と南極半島を結ぶドレーク海峡を、強い偏西風に吹かれながら南下します。この神秘的な海峡は、豊かな海洋生物が息づく場所であり、航海する人々の目と心を魅了してくれます。約 600 海里を越えるころ、流氷や氷山が姿を現し、空には海鳥が舞い、クジラが水面に優雅な姿を見せてくれます。船内では、南極に精通した専門家や学者によるレクチャーが行われ、南極大陸の地理や生物、多くの歴史についての理解を深めることができます。やがて、熱水と冷水が混じり合って霧を生む「南極収束帯」にさしかかると、澄み切った冷たい空気が船を包み込み、南極特有の世界がすぐそこに広がっていることを感じさせてくれます。その荘厳な風景への期待に、船内には高揚感が満ち溢れます。

サウスシェトランド諸島に到着すると、ハーフムーン島やアイチュウ島では、ペンギンたちが群れをなし巣作りをはじめ、空では海鳥が舞い、美しい絵画のような光景が広がります。この諸島で最も希少な植物であるコケや地衣類は、短い夏の間に一斉に繁り、極地の景観に鮮やかな彩りを添えています。

この旅はまさに冒険そのもので、訪れる人々を南極の大自然がもつ神秘と感動の世界へといざない、生涯忘れられない思い出となることでしょう。

※極地という特殊で予測困難な環境のため、本パンフレットに記載されたクルーズの旅程は、悪天候やその他の不可抗力によって、航路や上陸地、訪問順序、上陸の可否、上陸の時間・滞在時間などが変更、または中止となる場合があります。これらの判断は状況に応じて船側により決定され、旅行代理店による契約違反とはみなされません。また、これに伴う補償責任も旅行代理店は負いかねます。ご予約いただいた時点で、これらの条件にご同意いただいたものとみなしますので、あらかじめご了承ください。

第4～8日目 サウスシェトランド諸島と南極半島観光

氷に覆われたサウスシェトランド諸島と南極半島の間をクルーズし、海鳥やペンギン、アザラシ、クジラなどが数多く生息する雄大なフィヨルドや氷山を観察します。毎日、南極探検家と共にゴムボートに乗り、上陸して圧倒的な景色を間近で体感します。航海中は、極地の専門家や経験豊富な探検隊員による多彩なレクチャーやプレゼンテーションに参加したり、展望ラウンジから広がる南極の絶景を楽しんだり、極地の動物たちの観察をしたりと、旅の感動を仲間と分かち合うことができます。条件が整えば、以下に示す場所のいくつかその他のスポットを訪れることもあります。(あくまで参考であり、確実に訪問する保証はありません。上陸場所や期間、上陸回数は船の判断により決定されます。)

クーバービル島

この島は、南極半島最大のジェンツーペンギンの生息地です。島を囲む浅い海には流水が漂い、見事な氷山が連なる光景が広がります。南緯64度40分、西経62度37分に位置するキューバビル島に到着すると、周囲は氷に包まれています。実は、この島はロンゲ島北部とアクトスキ半島の間にあるエレラ水路に静かに横たわる黒い岩の島で、海岸線には海水で洗われた黒い岩礁が広がっています。

ネコ・ハーバー

アンドヴォルド湾に面したネコ・ハーバーは、スピニフェックスペンギンの大きなコロニーとして知られています。また、かつてはアルゼンチン難民の避難場所でもありました。険しい山々に囲まれ、雄大な氷河に守られた穏やかな港です。ここを訪れると、ミンククジラがよく見られるエリアを満喫でき、アンドヴォルド湾と南極半島の壮大な景観を存分に楽しめます。さらに、ナホンク港は南極大陸に到達できる数少ない場所の一つであることも、訪問の際にぜひ知っておきたいポイントです。

アイチオ島

グリニッジ島とロバート島の間に位置するアイチュウ島は、南極の旅には欠かせない寄港地です。この島にはフードアデリーペンギンの群れや、くちばしがオレンジ色で白い肩斑が特徴のジェンツーペンギンが生息しており、運が良ければ日光浴をしているウェッデルアザラシに出会えるかもしれません。鳥類学者によると、南極地域には約1億2千万羽のペンギンが生息しており、これは世界のペンギン個体数の約87%、南極の海鳥全体の約90%を占めると推定されています。南極半島には18種類のペンギンが生息しており、それぞれ数百羽規模のコロニーを形成しているため、壮観な光景を目にすることができます。

ファンタジー・アイランド

ファンタジー島は馬蹄形をした南極の活火山島です。1960年、1969年、1970年に何度も噴火を経験しており、1969年の噴火では45人が亡くなりました。1921年から10年間、この島は捕鯨基地として機能し、クジラ湾には鯨油を入れた巨大な樽が現在も残されています。その後、イギリスはドイツの活動を監視するため、この島にB基地を設置し、飛行機の格納庫も建設しました。ファンタジー島は南極ツアーの最終目的地であり、ホエールベイは活火山の影響で海水が穏やかで比較的暖かいため、極地水泳を体験するのに理想的な場所です。

ウィルヘルミナ湾

南極半島に位置し、雄大な山々と深い氷河に囲まれたこの湾では、氷と水の魔法と魅力を畏敬の念とともに体験できます。かつてこの湾はクジラやアザラシの豊かな餌場であり、多くの捕鯨船が頻りに訪れていました。天候や流水の状況が良ければ、ローボートで間近に捕鯨船を観察することも可能です。

ルメール海峡

リマ海峡とも呼ばれるこの海峡は、南極大陸で最も美しい航路のひとつで、長さ11,000メートル、幅1,600メートルのコンパクトな海峡です。その景観の美しさは言葉に尽くせないほどで、一度訪れれば南極の魅力を深く実感できるでしょう。雄大な海峡は神秘的な雰囲気漂わせており、魅力的であると同時に畏敬の念を抱かせます。晴れた日には、この神秘的な海峡を航行するのは格別の喜びです。

ヴァーナツ探検ステーション

この基地はもともと英国が設立し、1996年に1セントでウクライナに売却されました。現在は気象学、大気物理学、地磁気学、生物学、地震学、氷河学、物理学など、さまざまな分野の研究が行われています。

研究施設は2階建てで、1階には専門の研究室やX線医療機器、ジムがあります。2階はバーやビリヤード台のある憩いの場で、絵葉書や初日カバーも販売されています。屋外のバルコニーにはデッキチェアが置かれ、ウクライナの科学者たちはウォッカを飲みながら歌い、時にはリズムカルなダンスでこの孤独な土地での生活を楽しんでいます。

ブラウンブラフ

アデリーペンギン、ジェンツーペンギン、クロユリカモメ、ケープウミネコが子育てを行う重要な繁殖地であり、ウェッデルアザラシも定期的に訪れます。経験豊富なクルーが、静かに座って自然の風景を見つめるアデリーペンギンを、ベストアングルで撮影するポイントをご案内します。

アイスバーグ・アレイ

クルーが名付けた「アイスバーグ・アレイ」。さまざまな形と大きさの流氷が、まるでワンダーランドにいるかのような気分させてくれます。48kmにわたる航路には、50万羽のアデリーペンギンをはじめ、ジェンツーペンギン、アザラシ、シャチなどが生息しています。

ラクロア・ハーバー

かつてイギリスの基地でしたが、1962年に放棄されました。1996年に南極遺産財団によって博物館に改築されました。この建物の周りでは、ジェンツーペンギンが印象的な姿を見せています。博物館には郵便局があり、さまざまな土産物や衣類、絵葉書などを販売しています。郵便サービスのほか、初日カバーや珍しい南極の消印も取り扱っています。南極に送られた手紙には、ポルト・ラクロワの特別な消印が押され、送料は無料です！

※極地という特殊で予測困難な環境のため、本パンフレットに記載されたクルーズの旅程は、悪天候やその他の不可抗力によって、航路や上陸地、訪問順序、上陸の可否、上陸の時間・滞在時間などが変更、または中止となる場合があります。これらの判断は状況に応じて船側により決定され、旅行代理店による契約違反とはみなされません。また、これに伴う補償責任も旅行代理店は負いかねます。ご予約いただいた時点で、これらの条件にご同意いただいたものとみなしますので、あらかじめご了承ください。

第10～11日目 ドレーク海峡横断クルーズ

悪魔の偏西風ベルトの下を通り、ドレーク海峡を北上し、ゆっくりとウシュアイアまで航行します。荷物を解き、人生最高の思い出を胸に帰路につきます。すべてを忘れるのは難しいからこそ、落ち着いて海の静けさに耳を澄ませて、豪華客船ならではの贅沢な余暇を体験してみたいかがでしょうか。クルーズ船内ではミーティングや講演会、フォーラムを開催することもおすすめです。

第12日目 ウシュアイア入港/下船

朝、ウシュアイアに到着後、下船となります。忘れられない南極の旅の終わりです。

■申し込みと支払い

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 申込金は、クルーズ代金の25%にあたる申込金+クルーズサービスTAX（1泊あたり12ユーロ）が必要です。申込時には、申込金とパスポート顔写真ページのコピー提出が必要です。 |
| <input type="checkbox"/> 残金は出発の4ヶ月前までにお支払いください。 |
| 期限までにお支払いいただけない場合、予約はキャンセルとなり、申込金は返金されません。 |

■キャンセルポリシー

取消日	取消料
予約完了時から180日前まで	11,000円
179～120日前まで	クルーズ代金の25%
119日前から90日前まで	クルーズ代金の75%
89日前から当日まで	クルーズ代金の100%

■ドレスコードのご案内

航海中には「白」「黒」をテーマにした2回のフォーマルパーティーが開催され、ご参加には、それぞれのテーマに合わせた服装をご用意ください。

□「白」：白を基調とした服装をご用意ください

□「黒」：黒を基調とした服装をご用意ください

※全身を白または黒で統一する必要はなく、白いワイシャツ+黒いズボンなど組み合わせによって両方のパーティーに参加可能です。

※女性の方にはスカートの着用をおすすめいたします。

■権利留保条項

当社は旅行日程を変更する権利を留保しております。スターフリートおよび現地パートナーは通常、事前に計画された旅程に沿って運行いたしますが、極地の見どころの営業時間、天候、その他の要因により、旅程を適宜変更する場合がございます。また、現地の地理や自然環境、生活様式が私たちの慣れ親しんだものと大きく異なるため、不可抗力による要因がいつ発生するかわからず、旅程の遅延、キャンセル、変更につながる可能性がございます。そのため、ガイドや旅行者のご提案・ご意見に基づき、旅行プランの適切な調整や改善を行いたいと考えております。これは、ツアーご予約後に旅程が変更される場合があることも意味しております。



■客室詳細

客室タイプ/詳細	客室画像
<p>スーペリアステートルーム</p> <ul style="list-style-type: none">• デッキ 3• 広さ：21 m²• 角窓	
<p>デラックスステートルーム</p> <ul style="list-style-type: none">• デッキ 3• 広さ：18 m²+6 m² (バルコニー)• 角窓• バルコニー付き	
<p>プレステージ・ステートルーム</p> <ul style="list-style-type: none">• デッキ 4,5,6• 広さ：18 m²+6 m² (バルコニー)• 床から天井まで広がる大きな窓• バルコニー付き	
<p>デラックススイート</p> <ul style="list-style-type: none">• デッキ 6• 広さ：21 m²+6 m² (バルコニー)• 床から天井まで広がる大きな窓• バルコニー付き	